

美作国創生公募提案事業 事業成果報告書

1 事業名： OKUTSU芸術祭

2 実施団体： OKUTSU芸術祭実行委員会

3 協働担当課： 美作県民局 地域政策部 地域づくり推進課

4 事業概要

(1) 目的

2023年～24年に、隣接する倉吉市に鳥取県立美術館の開設が決定しており、美作国の院庄ICから倉吉に向かう国道179号沿線等を高速道路経由では味わえない、各駅停車でアート等が楽しめる沿線に創造するとともに、主たる舞台とする鏡野町奥津地区のみならず、アートをテーマとして美作国のエリア発展に寄与する。そのためには、地域における真の芸術風土の醸成とこれに関わるアーティストを含めた人材育成が必要であり、中長期目線でこれに取り組むとともに、鳥取県立美術館の開設までに、美作国のアートレベル(意識・人材・産業・施設)を倉吉市と対等水準に引き上げ、芸術愛好者や一般客が倉吉への一方通行だけでなく鳥取県側からも国道179号線を通して美作国に来て下さる双方向の流れを創出する。

(2) 事業内容

一過性のイベントとした運営は行わず、奥津・鏡野を発信地として、美作国全体に本物志向の芸術文化を芽生えさせ育てていく。そのため、地元芸術家(鏡野町、美作国出身)で大学の専門教育を受けた将来有望なアーティストによる滞在・公開制作等を行い、本物志向の芸術世界を見せることにより中高校生に将来の可能性と道を開く。一方、アーティストの在籍・出身大学との関係を模索し(交流・連携・協定)、本流の芸術家への道をより具体化する。

5 実施内容

(1) 事業の進め方

- ・ 見せる芸術イベントに止まらず、芸術風土を醸成する人材育成の必要性、国道179号沿線の発展の意義と必要性について訴え、これを機会にさらに芸術祭後のフォロー(来季構想への理解・参画等)を行い浸透を図ります。
- ・ 地域住民の方々に対しては、和楽器ライブ、ディナーコンサート、坐禅等を開催して身近に感じていただくことで、芸術祭への理解を試みる。
- ・ 芸術レベルは、アーティストを芸術大学在学または出身者の中から登用し、高いレベルで提供する。

- ・ 国道 179 号沿線に関わる広域連携を模索し、県北さらに鳥取県内の市町村との関係を構築し、姉妹芸術祭としての開催などの推進を行う。

(2) 内容

① 作品展示

- イ. 道の駅奥津温泉 …… 山の洗濯美術館(手ぬぐいアート:回廊、芝生広場)
- ロ. 道の駅研修棟 …… 「はつ展。」有志作品展、作品展「狼・奥津」他
- ハ. 石庭遊園地 …… 吉田彩花インスタレーション 他
- ニ. 宝樹寺 …… 地獄図プロジェクト(池田愛花里が描く地獄図公開)
吉元咲希インスタレーション
- ホ. 旧武本名産店 …… 池田愛花里インスタレーション 他
- ヘ. かがみの近代美術館 …… 池田愛花里・川村洋平作品展 他
- ト. 池田屋河鹿園／米屋倶楽部 …… 矢内早由紀・川村洋平作品展

他

- チ. 奥津公民館 …… 故 植月正紀・水嶋早樹作品展 他

② 公開制作

- イ. 奥津公民館(池田愛花里・吉元咲希・矢内早由紀)

③ ワークショップ

- イ. 道の駅研修棟／奥津公民館
 - ・手ぬぐいアート(アーティスト指導)
 - ・山の洗濯美術館に作品展示

④ イベント

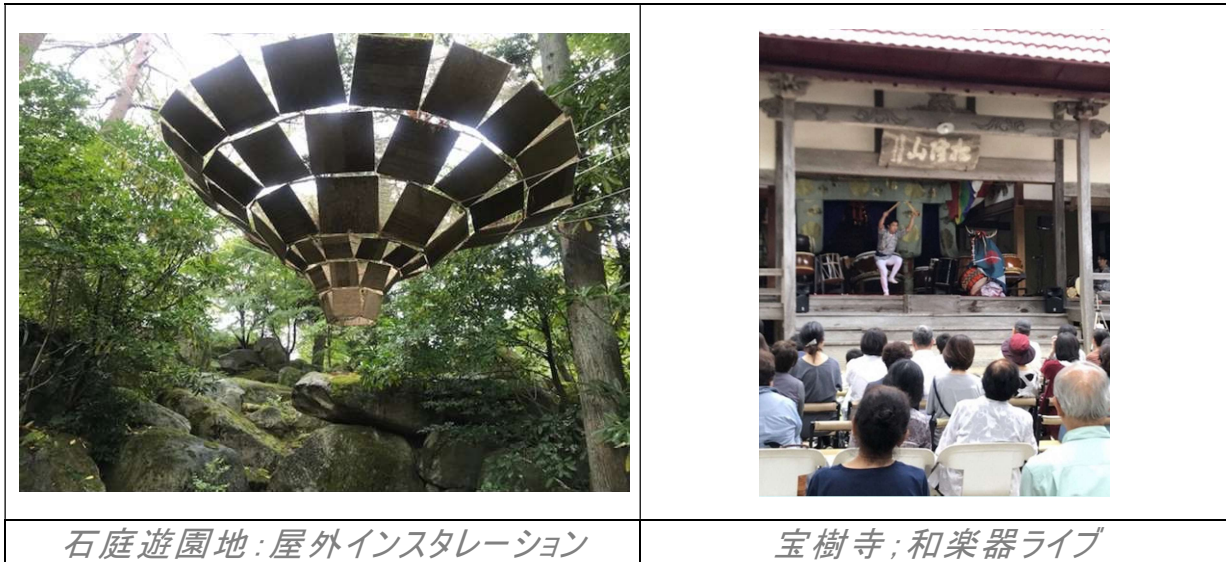
- イ. 「和奏人 宴」和楽器ライブ …… 宝樹寺
- ロ. 「ぱりとん亭千秋」ディナーコンサート …… Aelu・花美人の里
- ハ. 坐禅体験 …… 宝樹寺
- ニ. 「オールドフレンズ」オープニングミニコンサート …… 鏡野町観光協会



宝樹寺:地獄図プロジェクト



かがみの近代美術館:彫刻展示



6 事業実施による成果、効果、今後の課題

(1) 成果、効果

- ・奥津温泉エリアに『アート』『R179』『倉吉、鳥取県立美術館』というキーワードを組入れ、再発展に向けた一つの方向性を示すことができたと感じています。特に住民には坐禅や和楽器コンサートを通じて取組への理解が芽生え、来年以降の後押しとなるものと考えます。
- ・かつて棟方志功が滞在したことがあるエリアで、若い芸術家による本物志向の作品を身近に感じてもらったことで、自己或いは子供たちに芸術等、好きな分野で確かな基礎を学びつつ、生きる道を目指す人生モデルに触れていただくことができたと考えます。
- ・地域の発展を地域から生まれた芸術家と組織(実行委員会)と住民・各団体が協働することが重要であること、訪れた方の評価・満足度を通じて“美作国の価値を高めること”こそが地域発展の基礎になることを中長期的な取組を通じて学ぶ機会となりました。

(2) 今後の課題

- ・地域ボランティアを集めなかったために、マンパワー不足に陥り苦慮しました。結果として“展示施設が閉まっている”(裏を返せば平日でも予想以上の来客)との苦情にも繋がりました。
 今後は、遊休施設やお寺など急用による留守の発生が予想される施設での開催では、開館日を絞って人を確実に配備するなどの対応が必要と感じており、最大の課題と考えます。
- ・来訪者から、温泉街の中、並びに施設内でのルート案内が無いとの意見をいただき、来年は単独の詳細な地図の調製と施設内の矢印表示、ノボリの増加等の対応を行ってまいります。
- ・県民局主催の中間報告会で、審査員の方から“芸術祭出品をいつでも見るこ

とのできる施設を確保することが必要”との意見をいただきました。主要作品は当初の約束にて作家から譲渡を受けており、引き続き展示(一部は会場変更:地獄図はかがみの近代美術館で公開中・HPで周知)は行っていますが、例えば町有の遊休施設の提供等により公開できればと思います。また、遊休施設を活用させていただければ、さらに素晴らしい企画ができるものと考えます。

7 県民局と協働した効果及び課題

- ・県民局との協働による「美作国創生公募提案事業」として、美作国の発展・人材育成の責任を負っていることを実行委員に徹底するとともに、来訪者にも芸術祭の趣旨説明を行いました。その結果、実行委員は奥津や鏡野だけの発展だけを考えるのではなく、常に国道179号沿線並びに5年先10年先の美作国エリアの発展を共通意識とすることができました。

- ・このままではエリアが衰退の一途を辿るのではないかと危惧している中、本取組と組織をパワーアップし、県民局と移住者・有識者・地元次世代リーダー層を含めて、上手く協働していくことができれば、変革をもたらすことができるのではないかと思います。

以 上